

タヒチとハイチの木から紙ができた。  
行ってみたらとんでもない国だった。  
だけど、何とかなるもんです。  
あきらめないことって  
気持ちいい！

捨てられたバナナの木から紙ができれば、  
そこに奇跡の物語が生まれる。

大使館の課長としてハイチ共和国に赴任した三島幸子。カリブの熱帯国に  
いわれるハイチ共和国では学校に行けない子供も多く、ノートを買い足して  
もらえない子供もいる。ある日、幸子は日本から送られてきたバナナを見て、  
バナナの木から紙ができることを知る。こんな貧しい国でできるバナナから  
バナナの木からはりと直感した幸子は、日本からエキストラたちを呼び寄せ、  
バナナの木から紙をつくるプロジェクトをスタートさせる。同僚のイリコや中  
院生の中田、和紙職人の山村、みんなが幸子の思いに惹き込まれていく。機織  
のようなマキエットの活版屋、埃まみれの街、ボロボロの自動車。貧乏に生きた  
ハイチの人々、そして子供たちの明るい笑顔のなかで幸子は強くなっていく。

愛知・岐阜からカリブのハイチ共和国へ  
物語の舞台はグローバルに展開する。

舞台は、戦後60年を経た先進国の日本と、発展途上であり貧困にあまじいで  
いるハイチ共和国。このコントラストこそが作品の醍醐味とされている。日本では  
名古屋市中心部、中部国際空港、美濃市の和紙工房などで撮影された。地元  
の特色を活かしながら日本の心象風景を描いている。海外では、どこかハイ  
チで警察をはじめとする政府機関や地元住民など多岐の人々の協力を受け  
ながら撮影が進められた。特にハイチでは、政治不安のため国連の多国軍車  
が派遣されているという状況下での撮影となった。苦しいなかでの撮影を擁  
引されたこの作品には、各国の人々の熱い思いと願いが込められている。

最高のキャスト&スタッフが集結。  
大きな感動と元氣一杯の物語が誕生した。

大使館課長の幸子に「オードウェイ」の小山田サユリ、自然体で今までの  
20代女性を巧みに演じている。大学院生の中田には、日大大河ドラマ「新選  
組」で上方歳三を魅力的に演じた山本耕史、現地撮影のアイリコをキム・ス  
キ「きんぎょのすく」からくりアツ子で有名なゴトウゴトウが熱演する。和紙  
職人の山村には、情報系「紙織き」シリーズでは、見事に自身で和紙を造って見せた。  
そのほか、宮崎天来、小日向文世など、実力派キャストが豪華に集結している。  
脚本・監督が「守ってあげたい」「白痴」など近作にヒットが続いている。編  
織良成、独自の視点で人間ドラマを描き続ける編織監督が三年もの間を働  
けて今作に挑んだ。音楽は、シガー・ソングライターとして数々の名曲を生み  
出している角松敏生、音楽が映画の世界観を巧みに広げ感動をより強く響  
り上げている。編織監督は「一作続けてのコロナヒーロー」となる。

L'Association Suisse-Japon (section suisse romande) et le Japan Club de  
Geneva ont le plaisir de vous inviter à une  
**Soirée de charité pour Haïti et projection du film**  
**«Banane miracle»**

le jeudi 15 avril 2010 à Uni Mail de l'Université de Genève, Auditoire MS 150 où  
auront lieu :  
Un petit cocktail à 18 heures 45 et  
la séance de film de 19 heures 15 à 21 heures 15.



«Miracle Banana», un film japonais de Yoshinari Nishikiori, est basé sur une histoire vraie. Sachiko (rôle interprété par Sayuri Oyamada), une jeune employée d'ambassade envoyée du Japon au Haïti réalise que dans ce pays considéré comme le moins avancé des Caraïbes, beaucoup d'enfants ne peuvent aller à l'école. Même ceux qui en ont la possibilité sont le plus souvent démunis de cahiers. Pour Sachiko qui a grandi au Japon, tout cela est un choc. Mais elle ne désespère pas. Elle apprend qu'il est possible de produire du papier à partir du bois de bananier, bois qui est jeté au rebut même dans ce pays si pauvre. Elle réussit à monter un projet d'assistance pour inviter des experts du Japon, un artisan de papier japonais, Yamamura (Ken Ogata) et l'étudiant Nakata (Koji Yamamoto). De là naît l'histoire du miracle. Ce film inspiré par des faits réels vous offre pleins d'émotions et une vision positive de la vie.